

小木の子 われら

校 区 内
全 戸 回 覧

令和5年12月22日発行

「ものさし」の数

校長 高橋 高志

11月は、いじめ見逃しゼロ強調月間でした。学校では、いじめのない学級にするにはどうすれば良いか話し合ったり、「いじめ見逃しゼロ小木っ子集会」で、子どもたち同士が仲良くなるためのレクリエーションを行ったり、様々な活動を行いました。その1つとして、今年も友達の良さを伝え合う「いいねの花たば」の活動に取り組みました。そこに書かれていたことの一部を紹介します。

- いつも元気に走っていていいね。それに苦手な食べ物を食べてすごいね。（1年生）
- いつも「おはよう」と言ってくれてありがとう。（2年生）
- 人のいやなことをあまり言わないのがすごいと思いました。だからけんかが少なくていいと思いました。（3年生）
- テストの直前で教えてくれてありがとう。（4年生）
- 国語のとき教えたことにうなずいてちゃんと聞いていてすごいと思いました。（5年生）
- 図書委員会が考えたイベントに進んで参加していてすごいと思いました。（6年生）

子どもたちは、友達のことを実によく見ています。そして、人を見るとき「ものさし」（ものの見方）の数が増えてきていると感じます。きっと学校生活のいろいろな場面で、先生方が価値づけてくださったのだと思います。

学級が「勉強ができる・できない」という「ものさし」ばかりだと、子どもたちは息が詰まってしまいます。「思いやりがある」「あいさつができる」「ユーモアがある」「昼休みに元気に遊ぶ」「協力できる」「よく努力する」等、**多様な価値が認められる「ものさし」が多い集団の中ならどの子も安心して過ごすことができる**と思います。

これから迎える冬休み、ご家庭でもたくさんの「ものさし」を使って、前向きで温かい雰囲気の中で新年を迎えられることを願っています。

2学期も充実の内に終えることができました。多大なご支援をいただき、本当にありがとうございました。